

自分の未来は自分しかつけない



梅雨の蒸し暑い日々が続いています。学校では、新型コロナウイルス感染対策とともに熱中症対策も行いながら教育活動を進めています。保護者の皆様方には、毎朝の健康チェック、生徒のジャージでの学校生活（登下校は制服着用です）や水筒持参等にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後とも生徒の体調管理のために引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。さて、6月最終週に各学年の学年集会のなかで前期の学級役員（会長・副会長・合唱推進員）の任命式を行いました。どの学年の学級役員も立派な態度で臨むことができ、すでに日々の学校生活の中で自治活動や学級活動をリードし、活躍していることが感じられるようでした。本来なら全校集会の場で紹介すべきところですが、3密を避けるために学年ごとに集会を行う中での任命式となりました。

学校が再開して1カ月余りが経過し、ようやく通常の学校生活が戻ってきています。これからの学校生活を、私たちの大切な宝である田富中学校の生徒に、有意義に送ってもらうために、次のような話を学年集会の中で全学年にさせてもらいました。今＝現在、それより前＝過去、これから先＝未来、このなかで変えられないものは？「過去」。変えられるものは？「現在」と「未来」。では『自分の未来は〇〇がつくる』、〇〇に入るのは誰？という話をしました。お母さん？お父さん？先生？。お母さんもお父さんも先生もみなさんのお手伝いはできるし、ほめたり、認めたり、注意したり、叱ったり・・・、また勉強を教えたり、人としてこうした方がよいと注意したり・・・、あなたの方のことを懸命に考え、助けてあげることはできます。

でも、『自分の未来は自分しかつけない』のです。例えば、①一生懸命に勉強する⇒いつの誰のため？⇒未来の自分のため、②友だちに嫌なことをせず、親切に接する⇒「いいやつだなあ」と思われる⇒結果としていつ誰のためになる？、③掃除や給食当番をしっかりとやりきる⇒やるべきことをしっかりとやり遂げるようになる⇒結果としていつ誰のためになる？、④注意や忠告を受け入れて自分を修正できる⇒成長していく⇒結果としていつ誰のためになる？⑤クラスというチームでやるべきことをしっかりとやる⇒よいクラスになる⇒結果としていつ誰のためになる？もちろんこの逆のケースもあります。つまり、**今していること、最後はすべて自分の未来に結果があらわれる。なぜなら、今の自分が、未来の自分をつくっているからです。**このことを田富中学校の全校生徒一人一人に考えてもらいたいと思い、話をさせてもらいました。あなたは未来どうなりたいか？そのために、今、あなたは何をすべきなのか？私の願いは、**田富中学校の生徒のみなさんには、『未来を見据えて実りある日々を過ごしてほしい』と思っています。**

この話は、あくまでも方向性を示すものでしかありません。これを受けて自分自身で考え、どのように行動していくのか？各クラスで何をしていくのか？ご家庭では何をしていくのか？それが一つの分かれ目になると思います。『やる気』を引き起こす心の扉は、外側には鍵もドアノブもありません。内側から自分自身で鍵をまわしてドアノブをひねることでしか開けることができません。自分で扉を開けようとするのか？しないのか？ここが最も重要なポイントになります。ぜひ、全校生徒一人ひとりが自ら解錠し扉を開くような声かけ、活動ができるようにしていきたいものです。



学校運営協議会の発足（コミュニティ・スクール）

今年度から第2次中央市教育振興基本計画がスタートしました。中央市の教育の基本は『まごころ』①生きる力をはぐくむ教育（生）、②命を大切にする教育（命）、③信頼しあう教育（信）です。子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題がたいへん複雑化・多様化している現在、これを推進していくためには、学校と保護者、地域住民等、市全体で連携・協働して課題解決に取り組む必要があります。『まごころ』を基軸とする「地域とともにある学校づくり」を進め、教育における地域力の強化を図ることが求められます。そこで、市では、今年度から重点施策を『コミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくり』とし、市内の全小中学校で学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール＝学校運営協議会制度を導入した学校）をスタートさせます。（田富南小学校はすでに導入しています）学校運営協議会制度は、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い学校運営に意見を反映させながら共同して子供たちの豊かな成長を支えていくことを目的とする制度です。

6月24日（水）に第1回の学校運営協議会の会議を行いました。8名の委員の皆様方（委員長は清水千春様 元田富中学校校長です）には、今年度の学校経営方針や重点目標等について学校側の話を聞いていただき、アドバイスをいただきました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校行事等も変更や縮減を余儀なくされていますが、まごころ教育の推進や学校教育目標を達成するために、『地域とともにある学校づくり』を目指し、委員の皆様方の意見を参考にさせていただきながら、これから取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様方におかれましても、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

子育て談話室① ～人間関係は・・・～

現代社会は、情報があふれて、何が正しくて、何が価値あることなのか、ということが不易なのかなど、とてもわかりにくい時代となっています。この難しい時代に、“子育て”という一大事業を行っている保護者の皆様方に、私なりに大切にしたいほうがいいと考える『子育てのポイント』を提案させていただくのが、このシリーズです。少しでも皆さんの今後の子育てに役立てていただけるようなシリーズにしていきたいと思います。お付き合いの程よろしくお願いいたします。早速ですが、保護者のみなさんへ問題です。

問題：（ ）のなかに入る言葉は何でしょうか？

人間関係は（ ）です。（ ）は先に笑わない



正解は“鏡”です。「人間関係は鏡です。鏡は先に笑わない。」という言葉があります。自分が先に笑いかけないのに、人はほほ笑みかけてはくれない。自分があいさつの言葉かけをしないのに、人があいさつをしてくれるわけがない。実に意味深い言葉です。そして、さらにこの言葉をアレンジすると、こんなことも言えます。

子どもの（ ）は鏡です。あなたの（ ）の鏡です。

わかりますか？答えはたくさんあります。

ことば・・・子どものことばが「きつい」と思ったら、「あれ？私？」、「きついかな？」

態度・・・子どもの態度が「人の悪いところばかり指摘する」と思ったら、「あれ？私？」、「子どもの悪いところばかり探しているのかな？」

顔・・・子どもの顔に「表情がない」「笑顔がない」と思ったら、「あれ？私？」、「人に表情豊かに接している？」「笑顔で接している？」

姿・・・子どもの姿に「活気がない」「元気がない」と思ったら、「あれ？私？」、「日々の生き方に活気がない？」「私が元気がないのかな？」

どうでしょう。私たちは、ついつい「あの子はまったく・・・」とすべてを子どものせいにして、子どもを正そうとしてしまいがちです。でも、みなさんは鏡を見て映っている自分の髪型がおかしかったら、鏡を直しますか？そうではなく、自分の髪型を直しますよね？これって当たり前ですよ。でも日々の生活の中では、鏡の中を一生懸命に正そうとしているときがあります。外から見ると滑稽ですが、本人にはなかなかわかりません。

かく言う私も、自分の子どもを見て、「あの子はまったく・・・、あっ、しまった！自分の姿か！」といつも自己反省をしています。